平成31(2019)年度　江戸川区立南葛西第三小学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	生きる力を養う ○確かな学力　　○豊かな心　　○健やかな体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	誰も排除しないMAZEKOZEの学校　安全・安心の学校 自分がされていやなことは人にはしない子供 自ら学び向上する教師。子供の視点に立って考える教師。
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞○組織的学校運営の充実　　○多様性尊重の取組の導入 ＜課題＞○学力向上　○教員の授業力向上　　○働き方改革の実践的な取組		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	中学と授業参観、教科別分科会の実施。中1プロブレムの緩和	授業参観・分科会年2回 PTAお楽しみ会年1回	A	B	数値目標は達成をしたが、児童生徒間の直接交流が少ない。	B	いじめ等の対策を小中が連携し、計画的に実施することを希望する。	授業や部活動体験等の児童生徒間の交流を推進する。
	海洋教育パイオニアスクールの推進	外部講師や関係団体との連携による地域の特色を生かした海洋教育の推進	大学教授やNGO団体メンバーを講師とした授業の実施	大学教授やNGO団体メンバーを講師とした授業年3回以上	A	A	数値目標を達成した。地域の特色を生かした学習の定着を図り、外部により発信をしていきたい。	A	地域に根差した活動に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。	総合の年間指導計画に位置付け、本校の特色ある教育活動として根付かせる。
	多様性の尊重	日常の教育活動や外部講師による出前授業を通した違いを尊重し、差別を許さない指導の徹底	性別、性的指向、障害などの多様性を尊重する教育活動の実施	多様性の尊重に関する授業、学年または学級年3回、人権週間年3回以上	A	B	数値目標を達成した。教職員・児童・家庭の意識が変化してきた。	B	多様性に着目した活動に取り組んでおり、今後も取組の継続を希望する。	多様性尊重の意識を日常の授業をとおして高める。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICTアシスタントによる校内研修の実施	ICTアシスタントによる校内研修年6回　OJT研修年25回	A	B	授業力向上を目的とし、数値目標を達成した。教職員の意識の高まりが見られた。	A	研修の一層の充実を希望する。	学力調査の結果分析をもとに研修内容を精選し、実践する。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	通常学級担任などの特別支援教育への理解の深化	校内研修年3回、 児童への理解教育年1回	A	A	数値目標を達成した。通常級担任の特別支援教育への知識理解が深まった。	A	特別支援教育への理解や指導を教職員・児童に図られ、今後も取組の充実を希望する。	特別支援教室やことばの教室と連携したインクルーシブ教育の推進を図る。
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習の実施や東京ベーシックドリルの活用によるきめ細やかな指導の充実と授業力の向上	算数科　都学力調査CD層の減少	B	C	C層児童は全体の約28．8％で、－3ポイント、D層児童は全体の約41％で、－7ポイントと下回り、学力向上が図られていない。	A	学力を上げるための実践的取組を計画的に実施している。	校内研究・授業力向上OJT研修の更なる実践及び補習教室・朝学習の充実を図る。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	学校図書館の整備・活用の推進や探求的な学習の充実	ボランティアによる読み聞かせ月1回、年2回教員による読み聞かせ、 外部講師読み聞かせ年1回	A	B	数値目標を達成した。読書週間月間の実施により、読書環境の徹底が図られた。各自が問いをもち、複数の情報を読み比べ、取捨選択し、要点をまとめる等、発達段階に応じた取組ができた。	A	読書の高まりを感じる。苦手な児童への工夫等、今後も取組の継続を希望する。	図書館司書との連携等、読書環境の充実を図る。探究的な学習の系統性を明確にする。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の充実。マラソン大会の実施	休み時間運動タイム年35回 なわとび週間（短縄・長縄）年1回ずつ 体育科授業1コマ30分の運動量確保	A	B	数値目標は達成した。一方、体力テストの結果、筋力・走力・跳力が平均値を下回った。	A	体力向上の計画的取組を今後も希望する。	体力テストの結果分析を含めたチャレンジタイムの内容精選を図る。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	オリンピック・パラリンピック教育におけるボランティアマインドの情勢、障害者理解インクルーシブ教育の充実	外部講師による授業年3回 オリパラコーナー・掲示物の工夫	A	A	実践的かつ体験的学習等の出前授業を実施し、教職員・児童の障害者理解及びオリパラへの意欲が高まった。	A	今後も取組の継続を希望する。	年間指導計画の改善及び障害者理解への教職員・児童の推進を図る。
	外国語教育の推進	校内OJTを活性化させ授業力を向上するとともにALTの効果的な活用をする。	校内OJTで外国語授業の授業力を向上させる。	夏休み中に年2回の校内研修 および外国語授業に楽しさを感じる児童全体の8割以上	A	A	今後校内研修を実施し、外国語教育の理解と指導法を研修するとともに、児童への意識調査を行い、分析する。	B	今後も取組の継続を希望する。	教職員の授業力向上及び児童の実態を踏まえた年間指導計画を構築する。
安全・安心の保障	安全・防災教育の充実	自分の生命は自分で守る「危機意識」の育成	実践的な避難訓練の実施、具体的な安全指導	避難訓練・安全指導月1回 安全指導避難時間4分以内	B	B	身の安全を守る守り方の統一徹底にり、避難時間の減少（4月：5分38秒⇒11月：4分24秒）につながった。今後も継続指導していきたい。	B	児童の自助の意識の高まりが感じられる。今後も取組の継続を希望する。	安全教育の充実及び自助共助の精神の育成を図る。
	学校における生活指導習慣の確立	時間行動、挨拶の励行などの指針である「三小生活スタンダード」の徹底	教職員の統一した指導による生活スタンダードの定着	始業時の遅刻児童1日平均10名以下、保護者アンケートによる評価AB合わせて8割以上	B	B	遅刻者1日平均一桁の日もあるようになった。保護者アンケート学年によ98割を切る学年もあり、学年差がある。	A	児童の規範意識の高まりが見られ、今後も取組の継続を希望する。	統一的指導の強化及び徹底を図るとともに、家庭との連携を密に図っていく。
	いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応に関する対応の充実	いじめ防止対策委員会 いじめ防止授業公開 いじめ撲滅キャンペーンの実施	全校いじめ防止授業の公開 いじめ発生後3日以内の解消	A	B	いじめ防止に特化した授業を学校公開で全学年実施し、啓発を図った。	B	組織的体制のもと、早急の対応効果を今後も期待する。	校内体制の充実及び報告・連絡・相談を密に行い、いじめの早期発見早期対応に努める。